

## 観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和5年 7月28日

### 1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO <u>地域DMO</u>	
観光地域づくり法人の名称	公益財団法人 仙台観光国際協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 宮城県仙台市	
所在地	宮城県仙台市青葉区一番町 3-3-20 東日本不動産仙台一番町ビル 6階	
設立時期	平成27年4月1日	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	73人【常勤69人（正職員64人・出向等5人）、非常勤4人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	石川 浩史 仙台観光国際協会 （仙台市役所OB）	仙台市役所在籍時代は経済局長、会計管理者などの要職を歴任、2015年には仙台で開催された第3回世界国連防災会議を担当し成功に導くなどMICE事業に造詣が深い。2021年から公益財団法人仙台観光国際協会の理事長として、コロナ禍で観光業界が厳しい状況の中、持続可能な法人運営と交流人口の拡大に向けた事業の舵取りを担っている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） ※必ず記入すること	齋藤 勝也「専従」 仙台観光国際協会	仙台観光国際協会の固有職員として35年勤務。国内・海外プロモーションの他、受入環境整備に関する業務に従事。
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	前川由香子「専従」 仙台観光国際協会	仙台観光国際協会の固有職員として31年勤務。主に総務関係の事務に従事。2022年より引き続き当協会の総務企画課長として、法人の運営収支や財源確保に関する検討を行う。

観光事業部門の責任者	小松 智「専従」 近畿日本ツーリスト(株)	近畿日本ツーリスト(株)から(公財)仙台観光国際協会に派遣。観光事業部門の責任者として国内外の誘客プロモーションや新規コンテンツの開発など受入れ環境整備を統括している。
MICE事業部門の責任者	嶋貫 淳「専従」 (株)JTB	株式会社JTBから(公財)仙台観光国際協会に派遣。MICE事業部門の責任者としてMICE誘致や受入支援などを統括している。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	<p>■仙台市 文化観光局〔観光交流部(観光課・誘客戦略推進課)・東北連携推進室・文化スポーツ部(スポーツ振興課・文化振興課)]、まちづくり政策局、市民局、経済局、都市整備局、建設局、交通局、教育委員会、危機管理室</p> <p>■宮城県 経済商工観光部</p>	
連携する事業者名及び役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県観光連盟(広域観光プロモーション)</li> <li>・東北観光推進機構(広域連携DMO・広域観光プロモーション)</li> <li>・インアウトバウンド仙台・松島(地域連携DMO・地域連携プロモーション)</li> <li>・仙台商工会議所(まちなか活性化)</li> <li>・仙台市中心部商店街活性化協議会(受入環境整備・まちなか活性化)</li> <li>・仙台国際空港株式会社(一次交通)</li> <li>・仙台市交通局(二次交通 地下鉄・路線バス)</li> <li>・宮城県バス協会(二次交通 路線バス)</li> <li>・仙台ホテル総支配人協議会(観光地経営・MICE誘致)</li> <li>・秋保温泉旅館組合(観光地経営)</li> <li>・作並温泉旅館組合(観光地経営)</li> <li>・観光関連団体(観光地域づくり・観光プロモーション)</li> <li>・商工団体(まちなか活性化・受入れ環境整備)</li> <li>・宿泊事業者(受入れ体制の整備・MICE誘致・おもてなし)</li> <li>・観光関連事業者(観光地域づくり・滞在型観光振興)</li> <li>・農業関連事業者(観光コンテンツ・特産品開発)</li> <li>・交通事業者(一次,二次交通体制の整備)</li> </ul>	
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	<p>【該当する登録要件】</p> <p>①仙台の観光関連産業に関係が深い団体等の役員を中心に評議員16名、理事13名、監事2名を構成し、協会の運営及び事業について意思決定を行っている。</p> <p>※直近の理事会及び評議員会の開催実績(令和4年)</p> <p style="margin-left: 40px;">令和4年3月28日(月) 第23回理事会 令和4年4月1日(金) 第24回理事会 令和4年4月1日(金) 第13回評議員会 令和4年5月25日(水) 第25回理事会 令和4年6月27日(月) 第26回理事会 令和4年6月27日(月) 第14回評議員会 令和5年3月27日(月) 第27回理事会 令和5年4月1日(土) 第28回理事会</p>	

	<p>令和5年4月1日(土) 第15回評議員会          令和5年5月24日(水) 第29回理事会          令和5年6月21日(水) 第16回評議員会</p> <p>②仙台の観光関連産業に関係する、観光施設・旅行会社・宿泊事業者・小売事業者・交通事業者、商工会議所、行政等の幅広い分野の関係団体各種ステークホルダーをメンバーとする専門委員会を設置している。</p> <p>&lt;開催実績&gt;</p> <p>○観光専門委員会          新型コロナウイルス感染症第7波の影響により、開催を延期していたものの、登録DMOを目指した体制整備にあたり、委員会の意見を聴取した。</p> <p>○物産専門委員会          日時 令和5年7月12日(水) 実施 8名参加</p> <p>○コンベンション推進専門委員会          日時 令和4年7月1日(金) 実施 11名参加          テーマ「コロナ禍におけるMICE業界の課題」</p> <p>日時 令和5年3月16日(木) 実施 12名参加          テーマ「MICE関係者としてアフターコロナに向けて取り組むべきこと」</p> <p>日時 令和5年6月29日(木) 実施 12名参加          テーマ「MICE業界における課題と今後の対策」</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>① エリア別ブランディングワークショップの開催          観光地域づくりに向けて、エリア別ブランディングプロジェクトをすすめるにあたり、観光事業者をはじめ観光に関心のある市民等によるワークショップを開催している。</p> <p>第1回エリア別ブランディングワークショップ          仙台市西部地区 令和4年8月31日(水)          仙台市中心部 令和4年8月25日(木)          仙台市東部地区 令和4年9月1日(木)</p> <p>第2回エリア別ブランディングワークショップ          仙台市西部地区 令和4年9月27日(火)          仙台市中心部 令和4年10月11日(火)          仙台市東部地区 令和4年10月6日(木)</p> <p>第3回エリア別ブランディングワークショップ          仙台市西部地区 令和4年11月30日(水)          仙台市中心部 令和4年12月6日(火)          仙台市東部地区 令和4年12月7日(水)</p> <p>第4回エリア別ブランディングワークショップ          仙台市西部地区 令和5年2月9日(木)          仙台市中心部 令和5年2月9日(木)          仙台市東部地区 令和5年2月9日(木)</p> <p>第5回エリア別ブランディングワークショップ</p>

	<p>作並・定義地区 令和5年5月23日(火)          仙台市中心部 令和5年5月25日(木)          仙台市東部地区 令和5年6月14日(水)          仙台市秋保地区 令和5年6月19日(月)</p> <p>② 市民を中心に構成された市内の観光ボランティアガイド団体に対して「観光おもてなしセミナー」の開催と新規ガイドの募集を行い市民と一体となった観光客受け入れ環境整備を行っている。</p> <p>仙台市観光ボランティアガイドおもてなし研修会          令和5年2月25日(土)</p> <p>③ 市民・学生で構成された国際会議サポーターの事務局を主宰し、おもてなし受入れセミナーを開催、国際会議などの会場でボランティアによる観光デスクを設置し市民と会議参加者の交流機会の創出を推進している。</p> <p>令和4年度国際会議ボランティアシンポジウム          令和4年11月5日(土)</p> <p>その他、観光地域づくり啓発事業として、仙台市主催セミナーへの開催協力          ・「仙台の観光のこれからを考えるセミナー～観光ブランディングと観光地域づくりに向けて～」 令和4年7月22日(金)          ・「観光地域づくりセミナー」 令和5年3月25日(土)</p>
--	--

法人のこれまでの活動実績	<b>【活動の概要】</b>	
	事業	実施概要
	<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>■国内観光客誘客事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就航都市等における誘客プロモーション事業</li> <li>・首都圏並びに近県における誘客プロモーション事業など</li> </ul> <p>■海外観光客誘客事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ、台湾を中心とした海外プロモーション事業</li> <li>・インセンティブツアー関係者招請事業など</li> </ul> <p>■MICE 誘致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外におけるコンベンション誘致セールス事業</li> <li>・コンベンション主催者招請事業など</li> </ul>
	<p>受入環境の整備</p>	<p>■国内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験プログラム推進事業(2019年度より)</li> <li>地域の歴史・文化・自然など多彩な仙台の魅力を感じて体感する体験プログラム1,000本の創出を目標とした事業(2022年度末現在創出総数1,302本、その内673本が仙台市内)</li> <li>・仙台市観光情報センターの運営など</li> </ul> <p>■海外</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語観光パンフレットの作成</li> <li>・外国語接客支援ツールの作成</li> <li>・インバウンド対応力向上セミナーの開催 など</li> </ul> <p>■MICE</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイブリッド会議助成事業(2021年度より)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MICE サポートセンター運営事業</li> <li>・ コンベンション受入施設との情報交換会の実施 など</li> </ul>
観光資源の磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国内 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光ボランティアガイド活動促進事業</li> <li>・ 産学官連携によるコンテンツ創出事業</li> </ul> </li> <li>■ 海外 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪日外国人向け体験コンテンツの創出</li> </ul> </li> <li>■ MICE <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たなユニークベニューの開拓</li> <li>・ 仙台ならではのエクスカージョンの提案 など</li> </ul> </li> </ul>

## 【定量的な評価】

## 【観光客の実態等】

## ■ 観光客入込客数

(単位：人，%)

令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
入込者数	前年比	入込者数	前年比	入込者数	前年比	入込者数	前年比
21,810,557	100.0	8,382,086	38.4	13,162,162	157.0%	19,215,516	146.0%

## ■ 宿泊者数

(単位：人，%)

区分	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比
旧仙台市内	4,883,883	109.0	2,770,565	56.7	2,927,027	105.6%	3,795,883	129.7%
泉地区	278,070	100.9	147,988	53.2	185,453	125.3%	226,385	122.1%
秋保地区	856,116	97.1	541,568	63.3	471,968	87.1%	652,905	138.3%
宮城地区	224,282	94.4	106,969	47.7	49,792	46.5%	91,689	184.1%
合計	6,242,351	106.3	3,567,090	57.1	3,634,240	101.9%	4,766,862	131.2%

## ■ 外国人宿泊者数

(単位：人，%)

令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比
334,767	163.8	71,010	21.2	18,306	25.8%	34,303	187.4%

## ■ イベント状況

(単位：千人)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
仙台・青葉まつり	972	0	0	433
仙台七夕まつり	2,249	0	1341	2,250
SENDAI 光のページェント	2,850	225	1,142	1,700
定禅寺ストリートジャズフェスティバル	770	0	0	200
みちのく YOSAKOI まつり	0	0	0	250

## ■ 仙台市観光情報センター利用状況

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
案内件数	165,491	64,115	45,654	109,834
うち外国人	18,339	4,055	1,714	4,580

## ■ 交通機関利用状況

## (1) JR 仙台駅旅客輸送状況 (日平均、定期利用者含む)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
新幹線乗車人員	26,653	12,422	14,494	19,944

※東日本旅客鉄道(株)資料

(2) 仙台空港利用実績

		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
国内線	乗客者数	1,665,955	608,807	825,785	集計中 (10月頃 更新予定)
	降客車数	1,673,047	609,083	825,622	
	計	3,339,002	1,217,890	1,651,407	
国際線	乗客者数	185,921	0	2	
	降客車数	193,257	0	0	
	計	379,178	0	2	
合計	乗客者数	1,851,876	608,807	825,787	
	降客車数	1,866,304	609,803	825,622	
	計	3,718,180	1,217,890	1,651,409	

※国土交通省空港管理状況調書 ※国際線にはチャーター便含む

(3) 仙台市観光シティループバス (るーぷる仙台)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
乗車人員	586,862	202,049	206,898	305,703

※仙台市観光課資料

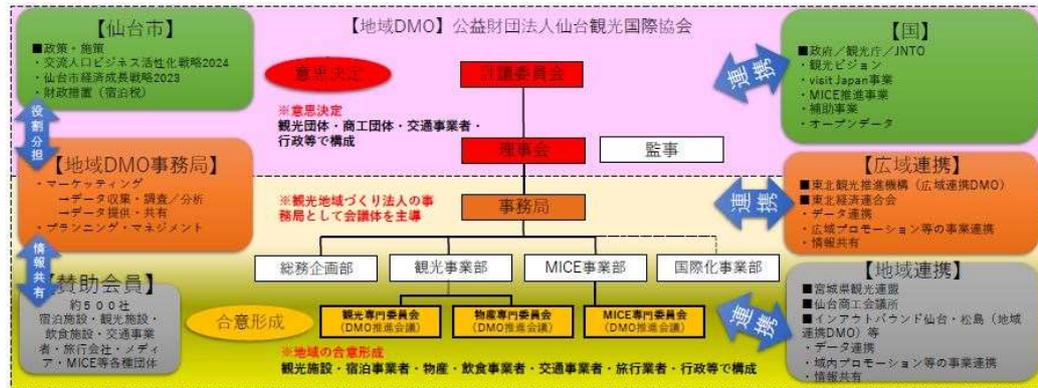
実施体制

※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること(別添可)。

【実施体制の概要】

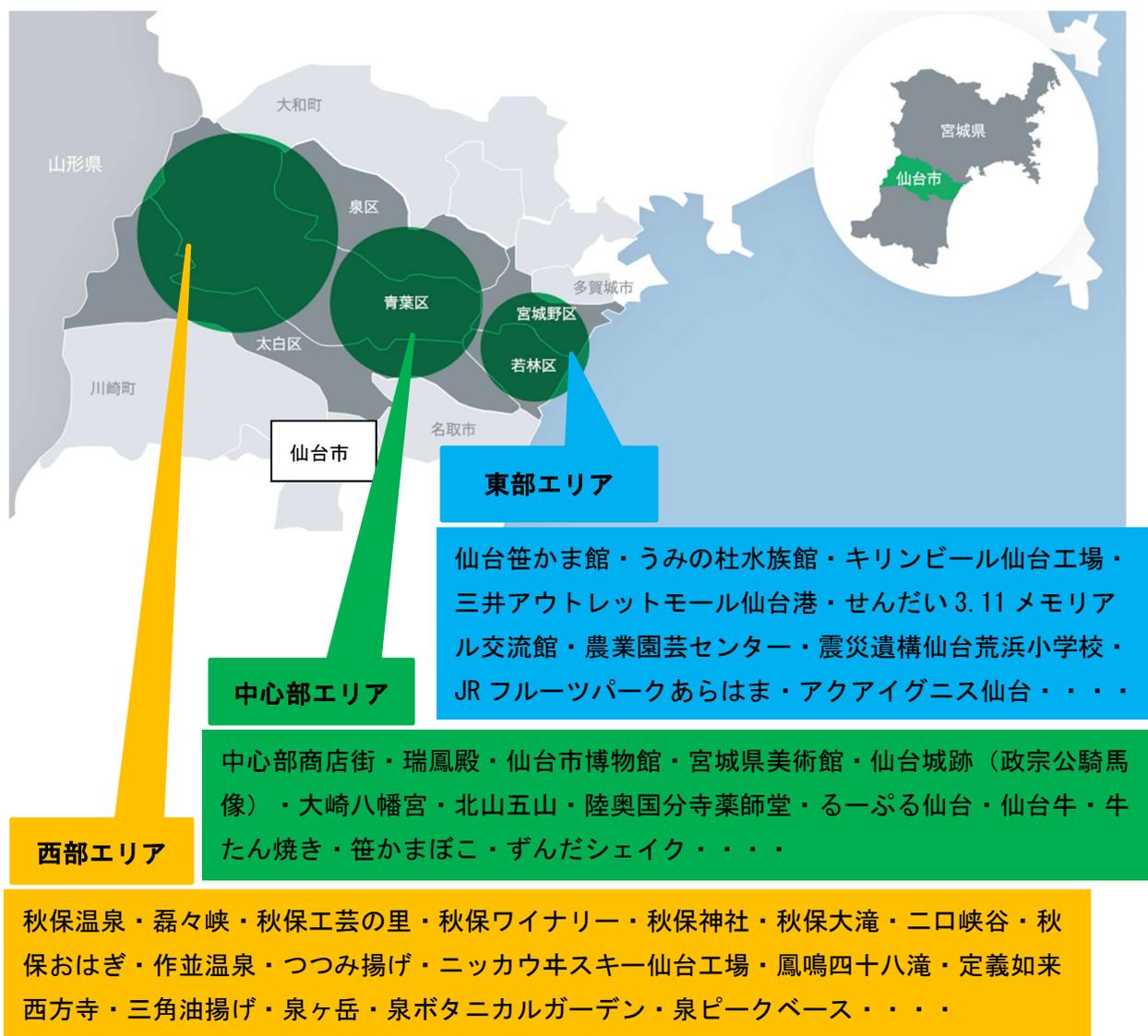
(公財)仙台観光国際協会を地域DMOと位置づけ、行政の政策目標である地域の観光と経済の活性化を目的とした「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略2024」の実現を目指す。民間事業者を中心とする賛助会員や地域民間事業者ともビジョンの達成目標とロードマップを共有し合意形成を図るなど、多様な分野の関係者が参画する官民が連携した運営を行う。

【実施体制図】



## 2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

仙台市は、仙台市中心部エリア、秋保・作並温泉を含む西部エリア、そして震災からの復興が続く東部エリアの3つの観光エリアに大別され、各域内には多様な観光資源が存在する。令和4年度に、それぞれの地域の関係者によるブランディングワークショップを開催し、各エリアのブランディングビジョンを策定中である。東北のゲートウェイとして各隣接県との広域連携も含め、今後、これらのビジョンを活かした各エリア間における連携事業を実施するにあたり、地域DMOのエリアマネジメントの範囲として、適切な区域設定と考える。なお、プロモーションについては近隣市町村・宮城県・東北観光推進機構などと連携し面による展開を図っていく。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント、体験プログラム等】

## ■観光資源

	カテゴリー	名称
仙台市中心部エリア	観光・商業施設	るーぷる仙台、瑞鳳殿、仙台市博物館、仙台城跡（伊達政宗公騎馬像）、大崎八幡宮、せんだいメディアテーク、定禅寺通り、勾当台公園、仙台市中心部商店街（アーケード商店街）エスパル仙台、パルコ、アエル、藤崎百貨店、仙台三越、仙台大観音、フィギュアスケートモニュメント
	自然	青葉山、広瀬川
	歴史・文化	瑞鳳殿、仙台城跡、大崎八幡宮、北山五山、陸奥国分寺薬師堂、輪王寺
	食	仙台牛たん焼き、笹かまぼこ、ずんだ餅、仙台長なす漬け、冷やし中華、仙台づけ丼、仙台マーボ焼そば、仙台あおば餃子、仙台せり鍋、仙台駄菓子、国分町、BAR Hopping（飲み歩き）
	イベント	仙台・青葉まつり、仙台七夕まつり、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、SENDAI 光のページェント、みちのく YOSAKOI まつり、仙台初売り、どんと祭、仙台クラシックフェスティバル、仙台国際音楽コンクール
	スポーツ	ベガルタ仙台、東北楽天ゴールデンイーグルス、仙台89ERS、マイナビベガルタ仙台レディース、仙台国際ハーフマラソン、全日本大学女子駅伝、全日本実業団対抗女子駅伝競走大会（クイーンズ駅伝）、ツール・ド・東北
	体験プログラム	まち歩きツアー、伝統文化・カルチャー、伝統工芸・ものづくり、食体験等（265件）
仙台市西部エリア	観光・商業施設	秋保・里センター、万華鏡美術館、秋保ビレッジ、秋保ワイナリー、アキウ舎、秋保工芸の里、天守閣自然公園、秋保大滝植物園、秋保ビジターセンター、湯のまち作並観光交流館ラサンタ、岩谷堂穴薬師、ニッカウヰスキー仙台工場、泉ボタニカルガーデン、仙台泉プレミアムアウトレット、泉パークタウンタピオ、泉ピークベース
	自然	二口峡谷、磐司岩、大東岳、秋保大滝、磊々峡、船形山、鳳鳴四十八滝、鎌倉山（ゴリラ山）、ニツ岩遊歩道、泉ヶ岳
	歴史・文化	秋保大滝不動尊、秋保神社、湯神神社、第二広瀬川橋梁（熊ヶ根鉄橋）、定義如来（西方寺）、秋保の田植踊、福岡の鹿踊・剣舞
	食	秋保おはぎ、秋保ワイン、秋保在来そば、秋保米、つつみ揚、串だんご、ニッカウヰスキー、三角定義あぶらあげ、定義味噌焼きおにぎり
	イベント	まつりだ秋保、仙台秋保そばフェス、アキウクラフトフェア手ん店、秋保ナイトミュージアム、作並駅感謝祭、定義ホテル祭り、泉ヶ岳 悠・遊フェスティバル

	スポーツ	みやぎ湯めぐりウルトラマラソン、作並温泉トレイルランニング、スキー・スノーボード、ジップライン（泉ヶ岳）、SUP
	体験プログラム	アウトドア・アクティビティ、伝統文化・カルチャー、伝統工芸・ものづくり、食体験等（306件）
仙台市東部エリア	観光・商業施設	仙台笹かま館、せんだいうみの杜水族館、三井アウトレットパーク仙台港、キリンビール仙台工場、夢メッセみやぎ、せんだい3.11メモリアル交流館、農業園芸センター、震災遺構仙台荒浜小学校、JRフルーツパークあらはま、アクアイグニス仙台
	自然	深沼海岸
	歴史・文化	貞山運河（貞山堀り）
	食	はらこめし、仙台せり、仙台曲がりねぎ
	イベント	荒浜灯籠流し、荒浜打ち上げ花火
	スポーツ	海岸公園サイクリングロード、海外公園野球場、ガモウパーク、海岸公園パークゴルフ場、海岸公園馬術場、海岸公園冒険広場デイキャンプ場
	体験プログラム	震災伝承・防災体験プログラム等（44件）

#### ■活用方法

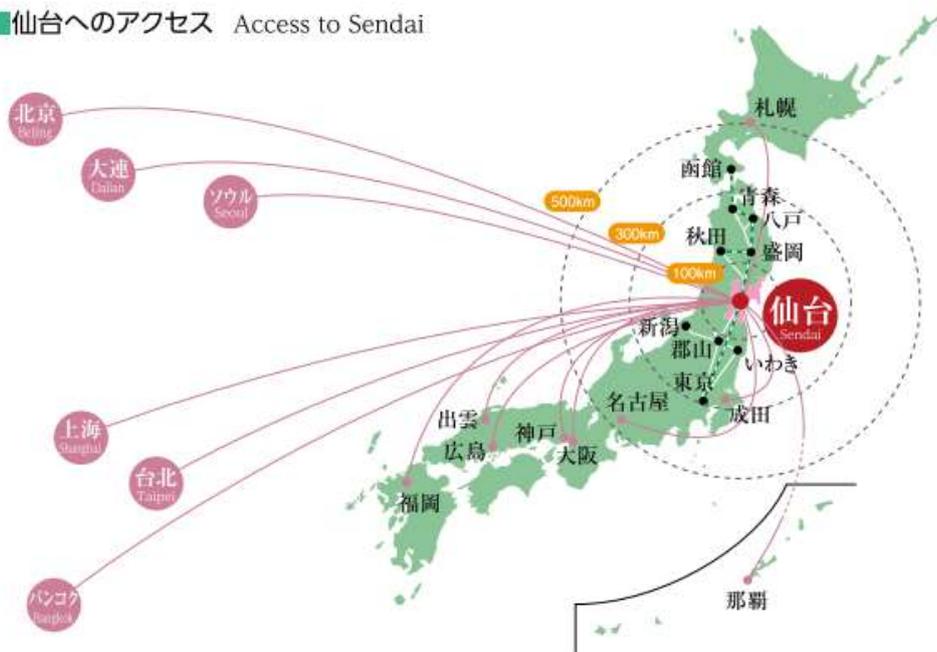
各エリアのエリアブランディングに基づき、観光資源の磨き上げを図る。また、各エリアの連携事業を推進し、仙台全体としての魅力向上を図り、滞在型観光の促進を図っていく。

#### 【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】（2022年10月1日現在）※休止中含む

区分	旅館・ホテル・簡易宿所		その他宿泊施設（民泊）		合計	
	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数
青葉区	92	19,337	20	-	112	19,337
うち作並温泉	7	2,258	0	-	7	2,258
宮城野区	23	4,040	0	-	23	4,040
若林区	6	2,339	4	-	10	2,339
太白区	29	7,450	9	-	38	7,450
うち秋保温泉	20	6,646	1	-	21	6,646
泉区	9	1,595	2	-	11	1,595
全市	159	34,761	36	-	194	34,761

【利便性：区域までの交通、域内交通】

■仙台へのアクセス Access to Sendai



■空路（仙台国際空港：仙台市内まで仙台空港アクセス鉄道にて28分）

（国内線）

- ・札幌（新千歳）—仙台 1時間10分（16往復/日）
- ・東京（成田）—仙台 1時間（2往復/日）
- ・名古屋（中部）—仙台 1時間5分（6往復/日）
- ・大阪（関西）—仙台 1時間20分（3往復/日）
- ・大阪（伊丹）—仙台 1時間10分（16往復/日）
- ・神戸—仙台 1時間20分（2往復/日）
- ・出雲—仙台 1時間25分（1往復/日）
- ・広島—仙台 1時間20分（2往復/日）
- ・福岡—仙台 1時間40分（7往復/日）
- ・沖縄（那覇）—仙台 2時間30分（1往復/日）

（国際線）

- ・ソウル—仙台 2時間10分（3往復/週）
- ・上海—仙台 2時間45分（2往復/週）※運休中
- ・北京—仙台 5時間10分（2往復/週）
- ・大連—仙台 2時間35分（2往復/週）
- ・台北—仙台 3時間10分（17往復/週）
- ・バンコク—仙台 5時間41分（3往復/週）※運休中

■鉄道（新幹線）

- ・東京—仙台 1時間30分
- ・秋田—仙台 2時間7分
- ・新函館北斗—仙台 2時間27分
- ・金沢—大宮—仙台 3時間30分

■高速バス

- ・青森—仙台 6時間15分
- ・秋田—仙台 3時間35分
- ・盛岡—仙台 2時間27分
- ・山形—仙台 1時間10分



- ・福島 - 仙台 1 時間 26 分
- ・東京—仙台 4 時間 34 分

#### ■自動車

- ・青森（青森 IC）—仙台（仙台宮城 IC） 3 時間 49 分
- ・秋田（秋田中央 IC）—仙台（仙台宮城 IC） 2 時間 56 分
- ・盛岡（盛岡 IC）—仙台（仙台宮城 IC） 1 時間 52 分
- ・東京（調布 IC）—仙台（仙台宮城 IC） 4 時間 6 分

#### 【外国人観光客への対応】

JR 仙台駅構内に設置している「仙台市観光情報センター」と仙台国際センター内に設置している「仙台多文化共生センター」は、共に日本政府観光局認定外国人観光案内所のカテゴリ 2 に認定されており、外国人観光客に対し、様々な情報提供を行っている。

今後、重点市場としているタイ・台湾の旅行者に対する受入れ体制強化のため中国語・タイ語による対応を整備しカテゴリ 3 の認定を目指す。

また、仙台の公式観光情報サイトである「せんだい旅日和」及び「Discover SENDAI」や各種 SNS による多言語での情報発信のほか、仙台市中心部では、フリーWi-fi 設備の整備が実施されている。

### 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	域内旅行消費額を把握	アンケート調査により取得
延べ宿泊者数	域内延べ宿泊客数と実態を把握	既存調査（仙台市調査）より取得
来訪者満足度	域内における旅行満足度を把握	アンケート調査により取得
リピーター率	域内における再訪率を把握	アンケート調査により取得
国内人流データ	国内観光客の人流動態の把握	外部システムより取得
仙台市観光客入込数	域内観光客入込数と実態を把握	既存調査（仙台市調査）より取得
仙台市外国人宿泊者数	域内外国人宿泊者数と実態を把握	既存調査（仙台市調査）より取得
仙台市内宿泊施設数	域内宿泊施設数の実態を把握	既存調査（仙台市調査）より取得
仙台市主要イベント集客数	主要イベントの実態を把握	既存調査（仙台市調査）より取得
コンベンション開催状況	域内コンベンション開催件数の把握	既存調査（仙台市調査）より取得
交通機関利用状況	域内交通機関の利用状況の把握	既存調査（仙台市調査）より取得
WEB サイトのアクセス状況	アクセス解析による関心層の把握	Google アナリティクスより取得
来訪者満足度調査	プロモーション等の効果測定	独自調査にて取得

### 4. 戦略

#### （1）地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

新型コロナウイルス感染症の影響により、仙台市の宿泊者数は、2020 年 5 月には対前年比で 8 割を超えるマイナスとなった。その後回復に転じたものの、コロナ前の水準に戻った月はなく、特に外国人宿泊者数は厳しく、9 割以上のマイナスが続いている。

今後の人口減少に加え、都市間の誘致競争も激しくなる中、仙台市の地域経済を持続的に発展させるためには、コロナ禍で影響を受けた国内外の交流人口を早期に回復させ、さらに拡大させていくこ

とが重要である。仙台市は、今後の目指す姿を「交流人口で潤う都市」と位置付け、2024年までに市内の年間延べ宿泊者数を過去最高の650万人泊とすることを目標としている。

本法人は地域DMOとして、多様な個人旅行のニーズに対する対応や、教育旅行・インセンティブツアー等の団体旅行、MICEなどによる集客促進とインバウンドによる消費拡大を図るため、観光資源の把握・動態分析等により観光需要との最適化をはかり、地域のブランド力の強化や人材育成、消費拡大など持続可能な地域づくりを行い選ばれる街仙台を目指す。

## (2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p><b>強み (Strengths)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏から新幹線で約1時間30分の立地。</li> <li>・東北のゲートウェイとして、東北各都市と高速バスで結ばれている。</li> <li>・県内の高速道路網が整備されている。</li> <li>・市内に秋保温泉・作並温泉と2大温泉地を抱えている。</li> <li>・エリアごとの多彩な観光資源</li> <li>・豊かな自然に恵まれた都市環境</li> <li>・多彩なイベントの実施</li> <li>・仙台の地に根付いた伊達文化及び伝統工芸や物産</li> <li>・東北大学など教育機関や研究開発拠点が集積</li> <li>・東北の空の玄関口として仙台国際空港がある。</li> </ul>	<p><b>弱み (Weaknesses)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地としての認知度が低い</li> <li>・観光面のランドマークの不足</li> <li>・近隣市町村等エリア間の連携不足</li> <li>・宿泊に繋がる朝・夜のコンテンツが不足</li> <li>・受入施設、看板表示等の外国語対応の遅れ</li> <li>・海外での認知度不足</li> <li>・インバウンド対応商品の不足</li> <li>・観光人材不足</li> </ul>
外部環境	<p><b>機会 (Opportunity)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青葉山エリアおよび仙台市内中心部における施設開発の進展</li> <li>・ホテル建設の増加</li> <li>・政府系国際会議の開催地として選定</li> <li>・大型イベントの開催地に選定</li> <li>・旅行形態の変化 団体⇒個人 モノ消費⇒コト消費へ</li> </ul>	<p><b>脅威 (Threat)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大による影響</li> <li>・コンベンション施設の不足</li> <li>・バンケットが可能な施設・ホテルの減少</li> <li>・人口減少と高齢化</li> <li>・物価上昇</li> <li>・ニーズの多様化によるターゲット選定、アプローチの難しさ</li> </ul>

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

## (3) ターゲット

<p>○第1ターゲット層 首都圏及び東北圏域からの観光客及びビジネス客</p>
<p>○選定の理由 令和3年度に仙台市が構築、運用を開始した仙台市観光DMPの来訪者動向分析の結果（コロナ前2019年動態データ調べ）、首都圏からの来訪が26.3%、東北圏域からの来訪が41.7%で、首都圏、東北地域で7割近くの来訪比率を占めていることから、ターゲットとして選定する。新型コロナウイルスにより落ち込んだ交流人口の回復を図るため、東北圏域からの誘客と併せて首都圏の観光客の誘客促進を図ることで、仙台市内の観光経済の安定化を図る。</p>

<p>○取組方針</p> <p>下記のターゲットの集客を目指し、各種コンテンツの開発とプロモーションを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏及び東北圏域からの周遊目的の観光客</li> <li>・東北圏域のファミリー層</li> <li>・仙台を来訪するビジネス客・MICE 参加者</li> <li>・仙台を訪れるリピート客</li> </ul>	
<p>○第 2 ターゲット層</p> <p>国内就航都市及び姉妹都市など関係都市からの観光客及び教育旅行者</p>	
<p>○選定の理由</p> <p>仙台市観光 DMP のマーケティングから、仙台の就航都市からの来訪者数は首都圏・東北に次いで数値が高く、WEB 分析結果においても閲覧全体の 43.9%が就航都市からであることが確認でき、これらのターゲット層からのニーズも高いと判断し、就航都市からの観光客をターゲットに選定した。また、就航都市以外にも、姉妹都市など仙台と関係が深い都市からの観光客の誘客を視野に、国内の交流人口の拡大を図っていく。</p>	
<p>○取組方針</p> <p>下記のターゲットの集客を目指し、各種コンテンツの開発とプロモーションを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就航都市からの観光客</li> <li>・北海道及び東北圏域の教育旅行者</li> <li>・仙台を訪れるリピート客</li> <li>・仙台を訪れるビジネス客・MICE 参加者</li> </ul>	
<p>○第 3 ターゲット層</p> <p>タイ・台湾を中心とした訪日外国人観光客</p>	
<p>○選定の理由</p> <p>タイ、台湾ともに仙台市の重点市場であり、令和 4 年度に仙台市が実施した「タイ訪日観光客に関する調査結果報告書」から、特に訪日経験が増すほど、東京・大阪などゴールデンルート以外の都市への訪問意向・関心が高まることが分かり、これらの層を含め仙台・東北への来訪を促していく必要があると判断した。アフターコロナに向け、タイ・台湾ともに仙台国際空港における国際定期路線再開に向けて取組みを強化しており、直行便の就航再開による旅行者数、宿泊者数の大幅な伸びが期待できる市場である。</p>	
<p>○取組方針</p> <p>下記のターゲットの集客を目指し、各種コンテンツの開発とプロモーションを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアを中心とした富裕層を含む訪日外国人観光客</li> <li>・東北を訪れる訪日外国人観光客</li> <li>・MICE 関係で来日する参加者</li> </ul> <p>※将来的な展開を見据え、東南アジアの他、欧米豪も視野に入れた取組みの推進。</p>	

#### (4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	<p>選ばれる街仙台</p> <p>～交流人口で潤う都市～</p>
--------	-----------------------------------

②コンセプトの考え方	秋保温泉や作並温泉、秋保大滝や磊々峡、鳳鳴四十八滝といった雄大な自然景勝及び「秋保工芸の里」をはじめとした工芸品や秋保域内に広がるガラス工芸や陶芸などの手仕事関係、中心部の循環型観光バス「るーぶる仙台」を活用した都市観光、そして東部地域における「震災遺構荒浜小学校」を拠点とした復興ツーリズム等に見られる様々な取組みといった仙台の地域ごとの特徴や、多種多様な魅力を最大限活用するため、コンセプトづくりを進め、エリアごとの特徴や魅力を深掘し、地域ブランディングを行うことにより、誘客促進、滞在期間の延長、再訪率の向上を図る。また、東北域内交流の活性化を図り、併せてタイ・台湾を中心としたインバウンドの早期回復を目指す。また、交流人口の「質」を重視した施策展開に注力するとともに、多様な関連事業者との連携の下で、交流人口で持続的に潤う都市を目指す。
------------	--

## 5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	<p>評議員会・理事会 観光専門委員会・物産専門委員会・MICE 専門委員会</p> <p>公益財団法人仙台観光国際協会の評議員及び理事は地域の多様な関係者で構成されており、意思決定の場として、評議員会を年1回、理事会を年2回開催している。</p> <p>また、多様な業種の関係者で構成される、観光専門委員会・物産専門委員会・MICE 専門委員会において「情報発信」「受入れ環境整備」「プロモーション」など戦略の共有、合意形成を図る。</p>
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<p>観光客を対象としたアンケート調査等を実施し、満足度や改善内容を把握する。また、その調査分析結果を宿泊施設、観光施設、飲食店など関係者に対して情報提供を行い共有することでサービス向上の好循環を図る。</p> <p>また、仙台市と共に「第4回仙台市交流人口ビジネスコンテスト」を共催し、観光関連事業者の新たな取組みや、事業者の交流人口ビジネスへの新規参入を促し、地域経済の活性化及び交流人口ビジネスの活性化に寄与する優れた取組みやアイデアの募集を実施している。尚、受賞事業については、実現に向けた事業支援を実施している。</p> <p>※第4回募集期間 令和4年11月21日～令和5年1月6日</p>
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外に対して効果的に仙台の観光情報を発信するため、公式ホームページ（せんだい旅日和・Discover Sendai）やSNSを活用した情報発信を行う。</li> <li>・旅マエ、旅ナカ、旅アト、それぞれのシーンに応じて、観光客が求める情報を的確に発信する。</li> <li>・体験プログラムを実施する民間事業者や地域と連携し、各コンテンツの魅力的な情報発信を展開する。</li> <li>・仙台の伊達文化に息づく伝統工芸や銘品銘菓の普及と販路拡大を図る。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・滞在型観光の推進のため、体験プログラムの利用促進に対して、旅行会社・メディアへのセールスコールの他、デジタルプロモーション広告等の支援を実施する。</li><li>・観光 DMP を活用し、観光動向にかかる様々なデータの収集・分析を行い、最新の状況データを共有することでマネジメント機能の強化を図る。</li></ul>
--	---

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

## 6. KPI（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

### （1）必須KPI

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	( )	( )	( )	257,299 (基準年)	261,306 (策定中)	策定中 (策定中)
	実績	( )	( )	206,086 (-)			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	( )	( )	( )	6,242 (334)	6,500 (500)	策定中 (策定中)
	実績	3,567 (71)	3,630 (1.8)	4,766 (34)			
●来訪者満足度 (%)	目標	( )	( )	95 (-)	68 (基準年)	70 (策定中)	策定中 (策定中)
	実績	( )	95 ( )	67 ( )			
●リピーター率 (%)	目標	( )	( )	( )	56 (基準年)	57 (策定中)	策定中 (策定中)
	実績	( )	( )	55 ( )			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

### 目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

#### 【検討の経緯】

仙台市では2022年度から2024年度の3年間を計画期間として「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略2024」を策定した。コロナ禍で落ち込んだ交流人口の早期回復、旅行消費の拡大による地域経済の活性化と交流人口ビジネスの発展と経済循環・雇用創出を図り、国内外の旅行者から選ばれ交流人口で潤う都市を目指すこととしている。

延べ宿泊者数については、2024年の数値目標として過去最高を記録した2019年の624万人泊を上回る650万人泊を設定している。

なお、2022年度から仙台市内の旅行消費額（1人1回あたり）、旅行の満足度、リピート意欲・実績について仙台市で独自に調査を実施している。

#### 【設定にあたっての考え方】

##### ●旅行消費額

「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略2024」で設定した2024年度までの宿泊客数等の数値目標を基準に、令和4年度仙台市観光実態調査の宿泊・日帰りの比率から日帰り旅行者を算出し、1人当たり観光消費額を乗じて算出。

<例、令和4年の旅行消費額>

- ・旅行消費額：（「宿泊旅行者数4,766,000人」×「市内宿泊旅行者消費額平均額39,930円」）＋（「日帰り旅行者数1,494,000人」×「市内日帰り旅行者消費額平均11,471円」）

※参考データ

- ・旅行客数：宿泊客 76% 日帰り客 24% ※仙台市独自調査の宿泊比率より
- ・宿泊旅行客数：仙台市「令和 4 年宿泊客数・観光客入込数」
- ・日帰り旅行客数：観光庁「旅行・観光消費動向調査」の宮城県における日帰り旅行客数  
「令和 4 年仙台市観光実態調査」の日帰り比率を乗算
- ・1人当たり観光消費額：「令和 4 年度仙台市観光実態調査」

#### ●延べ宿泊者数

「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略 2024」の計画に基づき、2024 年の国内・訪日宿泊合計 650 万人泊達成に向け、段階的な目標を設定している。

#### ●来訪者満足度

「令和 4 年度仙台市観光実態調査」における来訪満足度より「総合満足度」上位 2 つの回答を根拠に算出。目標値は令和 4 年（2022 年）の実績を基準とし、2024 年の観光を目的とする来訪者と観光以外（ビジネス等）を目的とする来訪者の「総合満足度」合計 70% を目標に、年 1% 以上の増加を目指す。

※令和 4 年より、回答項目を 5 段階評価から 7 段階評価に細分化したため、前年度の数値と誤差が生じる。

#### ●リピーター率

「令和 4 年度仙台市観光実態調査」より、過去 1 年間に仙台市を訪れた方のうち、仙台市に 2 回以上訪れた方の割合を算出。令和 4 年を基準年とし、年 1% 以上の増加を目指す。

※現状、連携する仙台市が策定する「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略 2024」では、2024 年（令和 6 年度）までの 3 年間を対象としており、令和 7 年度以降を対象とする当協会の次期ビジョン戦略については、令和 6 年度中に策定する予定である。

## (2) その他の目標

指標項目		2020 (R 2) 年度	2021 (R 3) 年度	2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度
●教育旅行客数 (人)	目標	( )	( )	( )	59,115 (100)	61,000 (100)	策定中 (策定中)
	実績	18,939 (0)	51,360 (0)	36,601 (0)			
●コンベンション 開催件数 (件)	目標	( )	( )	( )	671 (4,633)	策定中 (策定中)	策定中 (策定中)
	実績	153 (284)	134 (15)	564 (1,249)			
●仙台観光情報 サイトアクセス数 (PV 数)	目標	( )	( )	( )	4,800,000 (96,000)	5,000,000 (100,000)	策定中 (策定中)
	実績	1,928,518 (-)	2,781,711 (-)	4,466,892 (90,522)			
●体験プログラム サイトアクセス数 (PV 数)	目標	( )	( )	( )	1,188,000 (25,000)	1,300,000 (27,000)	策定中 (策定中)
	実績	299,703 (-)	619,464 (-)	989,880 (20,640)			
●再訪意欲度				94.1	60	62	策定中

	目標	( )	( )	(-)	(基準年)	(策定中)	(策定中)
	実績	-	94.1	59			
		(-)	(-)	(-)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値  
 ※各指標項目の単位を記入すること。

## 指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

### 【検討の経緯】

第1～第3ターゲット層の集客を効果的に推進するために、その他の目標として記載の5つのKPIを設定する。

### 【設定にあたっての考え方】

#### ●教育旅行客数

仙台市は2024年の延べ宿泊者数の目標を650万人泊としている。教育旅行客数の数値目標について、国内の宿泊入込に対する教育旅行の国内入り込みの割合を算出し、年4%の増加率での上昇を目指し、海外においてはコロナウイルス感染拡大期間の令和元年～4年を除く、過去5年の海外からの小学・中学・高校の入込数の平均数値としている。

#### ●国際会議開催件数（日本政府観光局（JNTO）基準）

仙台市は観光庁の「グローバルMICE都市」に選定されており、東北大学の研究機関等と連携し、国際会議の積極的な誘致に取り組んでいる。コロナ禍で激減した開催件数を令和5年まで3年程度で2019年同等まで回復させることを目指している。令和6年以降の目標値については、今後仙台市等とも協議しながら、令和5年度中に策定する予定。

#### ●仙台観光情報サイトアクセス数

観光情報サイトのPV数と宿泊者数の相関関係を調査したところ、PV数が増加した1か月後に宿泊者数が増加する傾向を確認できたことから、宿泊者数予測の指標として設定する。数値はGoogle Analyticsの計測数値を記載する。訪日外国人旅行者のPV数については、「せんだい旅日和」 「Discover Sendai」のページビュー数を記載している。

#### ●体験プログラムサイトアクセス数

仙台市が策定した「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略2024」において、体験プログラムの磨き上げとプロモーション強化は重点プロジェクトの一つであることから、滞在期間中のコンテンツとしての興味関心度の指標として設定する。数値はGoogle Analyticsの計測数値を記載する。訪日外国人旅行者のPV数については、日本語以外の言語を選択したユーザー数を記載している。

#### ●再訪意欲度

「令和4年度仙台市観光実態調査」より「再訪意向度」上位2つの回答割合を算出。令和4年を基準年とし、年1%増を目指し設定。目標値は令和4年（2022年）の実績を基準とし、年1%以上の満足度増加を目指す。

※令和4年より、回答項目を5段階評価から7段階評価に細分化し、「再訪意向度」上位2つの回答を算出根拠としたため、前年度の数値と誤差が生じる。

## 7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（1）収入、（2）支出を記入すること。  
 ※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

### （1）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）	
2020（R2） 年度	503,313,619（円）	【基本財産運用益】	2,321,570（円）
		【特定資産運用益】	41,506（円）
		【受取会費】	143,000（円）
		【受取補助金等】	477,779,553（円）
		【受取負担金】	12,040,494（円）
		【事業収益】	8,967,244（円）
		【雑収益】	2,020,252（円）
2021（R3） 年度	509,167,530（円）	【基本財産運用益】	2,052,084（円）
		【特定資産運用益】	51,982（円）
		【受取会費】	13,311,000（円）
		【受取補助金等】	466,023,746（円）
		【受取負担金】	11,757,723（円）
		【事業収益】	14,104,108（円）
		【雑収益】	1,866,887（円）
2022（R4） 年度	589,896,908（円）	【基本財産運用益】	2,012,036（円）
		【特定資産運用益】	51,499（円）
		【受取会費】	16,081,000（円）
		【受取補助金等】	524,614,128（円）
		【受取負担金】	11,905,316（円）
		【事業収益】	34,120,831（円）
		【雑収益】	1,112,098（円）
2023（R5） 年度	679,212,000（円） ※見込み	【基本財産運用益】	1,545,000（円）
		【特定資産運用益】	51,000（円）
		【受取会費】	15,600,000（円）
		【受取補助金等】	601,369,000（円）
		【受取負担金】	18,134,000（円）
		【事業収益】	41,962,000（円）
		【雑収益】	551,000（円）
			※見込み
2024（R6） 年度	未定		未定

2025 (R7) 年度	未定	未定
-----------------	----	----

**(2) 支出**

年(年度)	総支出	内訳(具体的に記入すること)	
2020 (R2) 年度	510,800,076 (円)	【公益目的事業】	450,581,457 (円)
		【収益目的事業】	8,805,385 (円)
		【管理費】	51,413,234 (円)
2021 (R3) 年度	508,858,873 (円)	【公益目的事業】	448,542,756 (円)
		【収益目的事業】	12,149,800 (円)
		【管理費】	48,166,317 (円)
2022 (R4) 年度	586,613,155 (円)	【公益目的事業】	516,301,150 (円)
		【収益目的事業】	18,732,684 (円)
		【管理費】	51,579,321 (円)
2023 (R5) 年度	679,212,000 (円) ※見込み	【公益目的事業】	561,222,246 (円)
		【収益目的事業】	17,571,806 (円)
		【管理費】	100,417,948 (円)
			※見込み
2024 (R6) 年度	未定		未定
2025 (R7) 年度	未定		未定

**(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針**

- ・DMO活動に伴うマーケティング調査結果を会員向けに提供する等の会員メリットの強化と、宿泊施設や観光関連施設の未加入事業者への営業強化によって賛助会員数の拡大を図る。
- ・インターネットを通じた物販事業の拡充や仙台名物こけしなどのオリジナルコラボ商品の開発などによる自主事業収入の増大
- ・国や地方自治体の補助金など公的資金の活用と確保。仙台市とDMOへの補助金等、公的資金の充当方法については継続して検討を行っている。

## 8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

仙台市としては、公益財団法人仙台観光国際協会はこれまで地域の様々な関連事業者とともに観光施策を進めてきた実績と、観光・MICEに関する専門性やノウハウを持つ法人であることから、本市の観光振興や交流人口の拡大、地域経済の活性化に繋げるため、当該協会が地域DMOとしての機能を担うことが最も適当であると考えます。

## 9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

候補DMO申請に際し、地域連携DMOである株式会社インアウトバウンド仙台・松島様と事前に協議し、区域内の取組についての情報共有と相互連携の他、ターゲットごとの役割分担を図ることで、効率的な観光地域づくりを目指すことで合意している。

### 【区域が重複する背景】

仙台市は東北の玄関口であることから、主にインバウンド客をターゲットとするインアウトバウンド仙台・松島様でも仙台域内の観光資源を活用した取組みを展開しているため、仙台区域が重複する。

### 【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】

弊法人と、インアウトバウンド仙台・松島様では、インバウンド観光客に関してターゲットが重複するところはあるが、インアウトバウンド仙台・松島様は、主として富裕層向けの商品造成等の取組みを展開しており、弊法人は一般的な客層をターゲットした誘客を担う予定としている。

### 【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

同一ターゲットにおいても、富裕層と一般とセグメント分けを行った取組みと、相互の連携によって、ターゲットとするエリアから効率的且つ効果的に誘客活動が実施できると考えている。

## 10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	川口 順弘
担当部署名（役職）	総務企画課DMO担当部長
郵便番号	980-0811
所在地	仙台市青葉区一番町 3-3-20 東日本不動産仙台一番町ビル 6階
電話番号（直通）	022-268-6263
FAX番号	022-268-6252
E-mail	y-kawaguchi@sentia-sendai.jp

## 1 1. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	仙台市
担当者氏名	渡辺 宗太
担当部署名（役職）	仙台市文化観光局・観光交流部・観光課 企画調整担当課長
郵便番号	980-8671
所在地	宮城県仙台市青葉区国分町3丁目7-1
電話番号（直通）	022-214-8028
F A X 番号	022-214-8316
E - m a i l	souta_watanabe@city.sendai.jp

記入日: 令和5年 7月 28日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

宮城県仙台市

【設立時期】 平成27年4月1日

【設立経緯】

仙台観光国際協会と仙台市の役割分担等をした上でDMO申請

【代表者】 理事長 石川 浩史

【マーケティング責任者(CMO)】 齋藤 勝也

【財務責任者(CFO)】 前川 由香子

【職員数】 73人(常勤69人(正職員64人・出向等5人)、非常勤4人)

【主な収入】

仙台市補助金 524百万円、賛助会費 16百万円(令和4年度)

【総支出】

公益目的事業 516百万円、収益目的事業 18百万円 (令和4年度)

【連携する主な事業者】

・東北観光推進機構(広域連携DMO)、インアウトバウンド仙台・松島(地域連携DMO)、宮城県観光連盟、仙台商工会議所、仙台市中心部商店街活性化協議会、仙台国際空港㈱、仙台市交通局、宮城県バス協会、仙台ホテル総支配人協議会、秋保温泉旅館組合、作並温泉旅館組合、他観光関連団体、商工団体、宿泊事業者、観光関連事業者、農業関連事業者、交通事業者

KPI(実績・目標)

※( )内は外国人に関するもの。

項目		2020 (R2)年	2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年
旅行消費額 (百万円)	目標	( )	( )	( )	257,299 (計測中)	261,306 (策定中)	策定中 (策定中)
	実績	未計測 (未計測)	未計測 (未計測)	206,086 (未計測)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	( )	( )	( )	6,242 (334)	6,500 (500)	策定中 (策定中)
	実績	3,567 (71)	3,630 (1.8)	4,766 (34)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	( )	( )	95 (未計測)	68 (計測中)	70 (策定中)	策定中 (策定中)
	実績	未計測 (未計測)	95 (未計測)	67 (未計測)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	( )	( )	( )	56 (計測中)	57 (策定中)	策定中 (策定中)
	実績	(未計測)	(未計測)	(未計測)	55	—	—

戦略

【主なターゲット】

首都圏及び東北圏域からの観光客及びビジネス客

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

以下のターゲットに対し、各種コンテンツの開発とプロモーションを展開する。

- ・首都圏及び東北圏域からの周遊目的の観光客
- ・東北圏域のファミリー層
- ・仙台を来訪するビジネス客・MICE参加者
- ・仙台を訪れるリピート客

【観光地域づくりのコンセプト】

選ばれる街仙台 ～交流人口で潤う都市～

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・エリアごとに産官学の参加者で地域の課題と魅力を議論する、エリア別ブランディングの実施。
- ブランド確立に向けた取組みを検討中。

【受入環境整備】

- ・「訪日インバウンドセミナー」
- ・「おもてなしセミナー」の開催

【情報発信・プロモーション】

- ・「せんだい旅日和」での情報発信(令和4年440万PV)
- ・「仙台旅先体験コレクション」での体験プログラム掲載

【その他】

- ・デジタルマーケティング分析に取組み、レポートを賛助会員向けに情報提供。



「仙台青葉まつり」において、持続可能な祭りに向け、外国人観光客に有料機数席のテスト販売実施



「仙台旅先体験コレクション」に掲載する着地コンテンツの体験会(旅コレフェス)の実施